

令和4年度

子育て支援つうしん

発行：社会福祉法人 函館共愛会 認定こども園 令和5年2月1日

今回は、10月に実施したアンケートの中から「トイレトレーニング」と「スマホやタブレットの扱いで気を付けていること」について、お答えいただいたご意見・ご感想をご紹介します☆

トイレトレーニングについて（原文ママ）

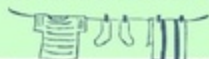
失敗を恐れず、パンツを履かせてみる。気持ち悪いとはどういう状態か本人が知ることが出来れば早く外せる気がします。

自宅のトイレだと大きくてステップを踏むのが怖いのか1度も成功できていない。

おしっこが出た時報告をしてくれたら教えてくれてありがとう。と言うようにしていたらありがとう。と言われるのが嬉しかったらしくその後のトイレトレーニングにも繋がった。おしっこが出た後ではなく出そうになった時も教えてね。と伝えたところこまめに教えてくれた。出なかった時はまだ出そうなきがしたら教えてね。と伝え、出た時はまた教えてくれてありがとうと伝えた。本人のやる気に繋がりが割と早い段階でオムツが外れました。

経済的な面で、ビッグサイズになったのをきかけにトイレを始めました。本人の気持ちというより完全に親の都合でしたが、すんなりトイレに行くようになり失敗したのは数回ほど。なんでも大人の真似をしたいというのもありおまると補助便座はほとんど使わずに終わりました。とりえずできた時に大袈裟に褒めたのが良かったのかな、と思います。

4歳3ヶ月頃にやっと取れ始めました。それまでは本人のやる気が全くなく、お兄さんパンツ拒否の日々で初めはなんとかしようと、パンツの柄を変えてみたり試行錯誤しましたが、全く捗らず諦めました。そのうち自分でお兄さんパンツを履くと言い出したので、本人のタイミングが全てなんだとわかりました。



オムツを卒業した今は、子供のペースに合わせて焦らなくて良かったんだなあと思っています！

たくさん体験談をお答えいただきありがとうございました！ペースや進め方はお子さんの様子、興味関心やタイミングも関係しています。順調に進んでいても、失敗が続くこともありますし、ちょっとしたきっかけでトイレで成功ができるようになることもあります。お子さんができることから少しずつ進めていきましょう☆

トイレトレーニングの進め方

- Step 1: 生活の区切りやオムツ交換のタイミングでトイレに誘ってみましょう。その際には、「おしっこ、うんち、トイレ」などの言葉への認識があるかも確認していきましょう。
 - Step 2: 「おしっこ」や「うんち」が出たことを自分から仕草や言葉で教えてくれるようになってきたら褒めてあげましょう。
 - Step 3: 成功が増えてきたら、布パンツに誘ってみましょう。
 - Step 4: お子さんが自分で尿意、便意を感じてトイレに行くようになったら完成まであと少しです！
- こちらは目安ですので、お子さんの様子に合わせてながら参考にしてみてくださいね。



進め方のコツ

- ☆ オムツを交換した時やトイレで排泄できた時に気持ち良くなったことが伝わるように声を掛けてあげましょう。
- ☆ トイレに行くことを嫌がる時には理由があるかもしれません。「～が終わったら、自分で～」などやりとりしてみましよう。
- ☆ お子さんが、好きなキャラクターや絵柄がありましたら、トイレの環境に使ってみたり、布パンツを選ぶ時に取り入れてみると興味関心が沸きます。
- ☆ トイレに座ることに慣れ、排泄が成功した時にはこぼろびシールなどを用意すると自信に繋がっていきますよ♪



☆トイレトレーニングが楽しくなるオススメ絵本のご紹介☆



ご家庭でのトイレトレーニングの様子を聞いたり、園の様子も伝えながらやりとりを深めていき、お子さん、保護者の方々、こども園と成長を喜び合えるようになっていきたいと思います。また、悩みや疑問などがありましたらいつでもお声掛けください。

スマホやタブレットの扱いで気を付けていること(原文ママ)

動画を見るのを辞める時は、すぐ見るのを辞めさせないで〇〇する時間だから後2個見たら辞めようかと言うと2個動画を見て自分で辞めたりします。長く見せてしまうこともあります。

1歳になったばかりなのであまり困ることはないが、スマホ動画を見る時間やタイミングは大人側でコントロールする必要あり。

時間を決めて使うようにしています。時間になったらタブレットその物が動かないよう設定しています。学習教材として取り入れている面もあるので、便利な世の中だなと思います。仕事が忙しく、祖母に保育してもらって時間が長いので、動画をみることも仕方ないかなと思っています。その代わりに、休みの日はあまり触れないように調整したりしています。

YouTubeは毎日観ています。長い時間にならないように気をつけてますが、リモコン操作を覚えたので、勝手に観てる時もあります。動画の内容は子ども向けなので、今のところは良い内容の動画だと思っています。

時間を決め、必ず目から離す、明るいところで見ることを約束しています。

アンケートの中で、共感できることや、対策・設定などをご回答頂きありがとうございます！使い方を知り、便利なツールとして活用していきたいですね。



時間を決めて見せるようにはしていますが、やめるタイミングが悪いと癪癪になってしまうのでなかなかうまくいかないなと思っています。



最初は子供向けの動画を見ているが、いつのまにか、子供には少し早いような内容の物を見ている事がある。見ている時間の長さも気になるが、子供と一緒に居る時間が自分の時は調整出来るが、自分以外(例えば父親、祖母、姉など)の場合はどこまで調整しているか分からないので、心配になる。休日には、外に連れて行き、公園で体を動かすようにしているが、食事を作る間など、動画に頼ってしまう。



子どもと動画、大切にしていきたいポイント

「動画以外の遊びをたっぷり」

一日の子どもの遊び時間の半分以上が動画視聴になってしまうと発達に影響が出てきます。また、スマホは一部の手指しか使わないため、身体能力の中で偏った使い方になってしまいます。幼児期は、たくさんの種類の多様な遊びを通して、心身ともに発達していきます。一人遊びだったり、集団遊びだったり、体を動かしたり、指先を動かしたりなどして遊び、そして成長していきます。そのような多様な遊びができていくかどうか、動画視聴との関係で大きく関わってきます。

「テレビや動画は「共視聴」を心がけて」

どれだけ質の良い教育番組でも、子どもがじーっと見ているだけでは教育効果が期待できないということがアメリカの実験でわかっています。家事や下のお子さんの育児、仕事の合間でもかまいません。見る時には、一緒に見て声をかけながら、見たことが良い体験になるようにしましょう。



動画に潜む危険とは？

- * 長時間見ることで視力が落ちる可能性が高くなります。
- * 映像が次々と流れてくることで自分で考えることが苦手になることも考えられます。
- * 繰り返し見ることで偽の情報が入り込まれていく場合があります。
- * 現実の世界とバーチャルの世界を混同させる恐れがあります。

動画をさせる時のルールが大切です☆

- * 視聴する時間をお子さんと決める、または1時間以内にしましょう。
- * 見る場所や部屋の明るさ、目と機器の距離に配慮し、必要に応じてお子さんに声を掛けましょう。
- * 機器を持たせたままにせず、時々確認しましょう。

上手くつきあおう！スマートフォン、タブレット

移動の時や、保護者が家事・仕事などを集中して行わなければならない時に便利です。



ダンスや制作、クッキングなど繰り返し見ることができ、お子さんだけでなく、親子で楽しんだり、覚える時に役立ちます。



お子さんのなぜ？どうして？は無敵！調べることは、「好奇心」を「学び」に変えることができます。

操作そのものに慣れていくことは悪いことばかりとは限りません。学校では、パソコンやタブレットが導入されており、「ICT教育(情報通信技術)」の学習が進められており、プログラミングに興味を持つお子さんもいたり幅広く展開されています。



今年度、子育て支援つうしんを ご覧くださいありがとうございました。これからも身近な情報や子育ての架け橋になるよう発信していきたいと思っております。